

No	12	分類	3-(1)-イ	資料名	大きく なったら	学年	1・2年	領域	特別活動（学級活動）
----	----	----	---------	-----	----------	----	------	----	------------

1 ねらい

- 自分の夢をもち、いきいきと生活しようとする意欲をもつ。

2 趣旨

- 自己実現を図るために夢を持ちながら前向きに努力していくことは、大切なことである。
- 自分の夢や希望について考え、それをもち続けながら、実現に向かって努力しようとする意欲を養う。

3 配慮事項

- 自分の夢について自由に発表できるような認め合える雰囲気をつくる。
- 資料の仕事にとらわれることなく、自分の親や家族の仕事なども肯定的にいきいきと語らせる。
- 自分の親や家族の仕事などを積極的に語らせる場合には、教師が児童それぞれの家庭環境をしっかりと把握しておいたうえで行う必要がある。

4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 資料を読み、ぼくの夢について話し合う。</p> <p style="text-align: center;">ぼくはどんなゆめをもっていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 虫のことを調べる人 ・ りょうしさん ・ だいくさん 	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの夢についてのイメージを深めさせる。 ・ ぼくの夢である仕事の内容を話し合うことで、それぞれの仕事のすばらしさを感じ取らせる。
<p>2 身の回りの仕事について発表しあう。</p> <p style="text-align: center;">身の回りには、どんな仕事がありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の親や家族、地域など児童の身近な仕事やテレビなどで知り得る仕事などを紹介し、そのすばらしさを感じ取らせる。
<p>3 みんなの夢を出し合う。</p> <p style="text-align: center;">みんなは、大きくなったら何になりたいですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の夢を吹き出しに書かせ、自由な雰囲気の中でのびのびと発表させる。 ・ になりたい理由を言える児童には発表させる。 ・ 夢が複数ある児童についても認め合う。 ・ それぞれの夢を認め合いながら、夢を持つことやその夢に向かって努力することの大切さを気づかせる。